

平成29年度 第1回 津高東京同窓会 役員会・代議員会「合同会議」記録

日 時 平成29年6月25日(日) 14:00～15:30

場 所 品川区・大崎第一区民集会所 第五集会室

出席者(35名)(敬称略、卒年順、同一卒年内は50音順に掲載)

S34 堀川幸夫、S36 居崎三郎、S40 櫻井隆三、渡邊智恵子、S41 落合敞、田村正衛、脇田允夫、S43 金丸直明、田村知子、S44 丹羽敏春、S45 奥田高秋、中川泰枝、奈良谷弘、矢野純司、S46 小林英俊、永納和子、夏池静、藤田隆正、S48 石飛光基、S52 橋爪吉博、S53 神谷千歳、村主英明、田中紀美子、田中成幸、日置俊哉、S56 金丸敦子、S57 松井香、溝口敬子、S58 大村健、庄司勇木、中川法子、S59 長谷川佳代子、吉村昭則、S62 長崎透、永橋信隆

内 容

(司会進行：S41 脇田) 14:00 開会宣言、配付資料確認、会次第の確認



会長挨拶 (S41 田村)



議題(1) 今年の総会・親睦パーティを振り返って

資料1 「案内状送付/返信、出席状況」により説明 (S41 落合)

資料3 「学生アンケート結果」により説明 (S53 村主)

資料2 「会計報告」により説明 (S41 落合)



輪番幹事より

(S45 奈良谷) 2年前から同期生に声をかけ、昨年の総会後から、具体的な準備を始めた。輪番幹事としてやるべきことはやり切った。出席された方に満足していただき、「こういう会合ならば、来年も出席したい」と思ってもらえるように努力した。事務局からは「出席者200名は確保したい」と言われたので、同期生の出席者は40名を目標とした。アトラクション(出し物)については、出席者の考え方が様々なので、何とも言えない。篠原氏の講演に決まるまで、検討段階で紆余曲折があった。とにかく、出席者が増えたのは、名簿の整備と、ホームページリニューアルによることも大きかったと思っている。今年よりも来年、再来年がさらに良くなるよう願っている。

(S45 奥田) 会の進行は、ほぼ予定どおりだった。篠原氏の講演が数分延びた。内容的には40~50分のもを短くした感じである。新卒者は、例年、本部事務局から推薦された2名のみが出席していた。今年は男子5名が出席することになったので、幹事で検討して、全員にインタビューすることにしたのだが、結果的には良かった。

(S57 松井) 司会の原稿が用意されていたので、問題なく務められた。最後に寄付のお願いをすれば良かったと思っている。寄付が必要な事情が、まだ伝わっていないと感じる。

(S45 中川) 会計は、今回2名で対応したが、今後も最低2名は必要だ。会計担当者が使用する集計用紙の「金種」欄を見直せば集計業務がより合理化されると思う。

(S57 溝口) 受付を担当した。開会5分前に会費の集計をいったん締めると言われたが、開会直前に多くの方が来られるので、あと10分ほど延ばしたほうが良い。

(S45 矢野) 写真を担当した。輪番幹事ではないカメラマンが来ていたが、輪番幹事(の写真担当者)との分担はどうなるのか？

(S53 村主) 昨年と今年は、事務局スタッフから個人的に依頼して、プロのカメラマンに来てもらった。目的は主にホームページ用の写真撮影であり、たまたま仕事が空いていたら来てもらえるという条件である。従って、総会・親睦パーティの記録(報告書作成)のためには、輪番幹事に写真撮影をしていただく必要がある。

(S45 奈良谷) 席替え後の歓談を仕切る「テーブルマスター」の段取りは、直前ではなく本番の少し前から行っておく必要がある。

(S45 中川) お土産については、井村屋の会長に直談判して提供していただいたが、寄贈は今年限りでと言われた。



出席者より。

(S36 居崎) 進行はスムーズだった。津から応援に来られた輪番幹事の方々も、良くやってくれた。

(S34 堀川) 「同窓会は楽しかった、良かった」という口コミで、出席者が増えると思う。事務局経費を寄付金でまかなっていることをもっとアピールしたほうがいい。寄付の実態はどうか？

(S41 落合) 会場で寄付いただいた方が54名で、約120名は予め振込みで寄付された。同窓会には出席しないが寄付して下さった方は約90名である。



議題(2) 来年の総会・親睦パーティに向けて

資料5「平成30年度総会・親睦パーティの開催について」により説明(S41 脇田)

(S46 藤田) 無理な動員はせず、手数をかけずにシンプルに、精いっぱい、輪番幹事を務める。

(S58 庄司) 昨年8月に津の同窓会の幹事を担当したので、同期生のネットワークがある。

全般について意見交換

- ・卒年幹事がいないところは、少しずつ整備していく。卒年幹事の「上限人数」は、特に設けていない。
- ・今年は時間配分が比較的良くできたと思うが、歓談時間をもっと長くしてほしいという意見を寄せてくる出席者もいる。無駄な時間を省いて、歓談の時間を確保したい。
- ・「出し物」は、あって良いのではないか。輪番幹事学年ではない方の講演は、今回が初めてだったので、新しいパターンができた。
- ・招待恩師も、輪番幹事の恩師にこだわる必要はない。今年は若い先生だったが、教え子が何人も挨拶に来て双方が喜んでいて。
- ・来賓挨拶の時間短縮を図る努力は必要だが、挨拶を全く無しにするわけにもいかない。
- ・本部長や校長の挨拶の中で、郷里や母校の状況を聞くのを、私は楽しみにしている。もっとも、それは人それぞれに感じ方が違うので、次の輪番幹事でよく検討していただきたい。
- ・出席者に楽しんでもらうことが大切である。

15:30 閉会宣言